

都道府県事業評価報告書

(福島県 令和5年度)

市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種等又は卸売市場名	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	市町村の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (令和元年度、その他市町:令和2年度)	1年後 (令和3年度)	2年後 (令和4年度)	3年後 (令和5年度)	目標値 (令和5年度)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
福島市	福島市	福島市公設地方卸売市場	被災した施設の復旧率100%	0%	100%	100%	100%	100%	100.0%	地震により被災した市場施設の復旧はすべて完了した。これにより円滑な市場取引業務が実施された。 R5年度市場開場日数 ・青果部 253日 ・水産物部 256日 ・花き部 246日	【売場施設】 ・構造:S造(一部RC造) 【貯蔵・保管施設】 ・構造:S造 ・設備: 冷蔵庫棟冷凍機用冷却塔(冷却能力312,000kcal/h・循環水量1,040ℓ/h) 【市場管理センター】 ・構造:RC造 ・建築:3mmフロートガラス(600×900mm)、6.8mm網入透明ガラス(1200×600mm)	12,751,750	4,568,000	1,274,000	6,909,750	0	R3.12.14	被災した施設の復旧はすべて完了した。市場機能の回復が図られたことにより、円滑な市場取引業務を実施することが可能となり、目標は達成された。	同左	地震で被災したすべての市場施設の復旧が完了し、円滑な市場取引が行われていることから、目標は達成された。	
須賀川市	夢みなみ農業協同組合	キュウリ	被災前に比べて農畜産物の生産量を5.0%増加	3,329トン	4,247トン	4,684トン	4,626トン	3,497トン	772.0%	雨よけハウス及び防虫ネットを使用しているほ場の面積拡大や選果場利用促進により、生産量1,297トンの増加となった。	集出荷貯蔵施設(鉄骨造、金属板葺、2階建、処理能力:518,616本/日) 建屋修繕及び電気設備修繕 9,225.475㎡	4,788,300	2,176,000	435,000	0	2,177,300	R3.11.30	施設化や施設利用促進の進捗も順調に推移し、収量増加となった為、選果数量も大きく増加した。	産地内では施設化も進んでいるため、引き続き生産量が増加するように選果場の利用促進を支援していく。	生産量は4,626トンとなり、目標が達成された。 今後も毎年安定した生産量を確保できるよう引き続き技術的助言や支援を行っていく。	徐税額 435,300円
桑折町	伊達果実農業協同組合	もも、りんご、あんぽ柿、桜桃(サクランボ)、ぶどう、プラム、梅、そ菜(インゲン)	被災前に比べて農畜産物の生産量を1%以上増加	1,112,058.4kg	881,029.3kg	1,054,315.9kg	1,026,829.3kg	1,123,179.0kg	-766.4%	令和5年度は、組合員に共選所の利用を働きかけたが、農家によるもも改植事業の取組拡大により成木前(収穫できない)の樹木が全体の1割を超える程度まで増えたこと、また、令和5年度の一部園地の凍霜害や令和3年度の甚大な凍霜害の影響がまだ残っていることで、あんぽ柿の原料柿の生産量が計画時水準まで回復できていないこと、さらには、高温が続いたことによるぶどうの着色不良の影響等により、生産量が予定数量を下回ったことから、共選取扱量が令和元年度に比べ85,230kg(7.7%)下回った。	集出荷貯蔵施設(共同選果場) ・施設の修繕 ・設備の修繕(ホットメルトについては撤去、再取得) ・1日最大処理量 1.3t/8時間 年間処理量 1,300t	4,020,500	1,827,000	365,000	0	1,828,500	R3.6.15	令和5年度は、組合員に共選所の利用を働きかけたが、農家によるもも改植事業の取組拡大により成木前(収穫できない)の樹木が全体の1割を超える程度まで増えたこと、また、令和5年度の一部園地の凍霜害や令和3年度の甚大な凍霜害の影響がまだ残っていることで、あんぽ柿の原料柿の生産量が計画時水準まで回復できていないこと、さらには、高温が続いたことによるぶどうの着色不良の影響等により、生産量が予定数量を下回ったことから、共選量が令和元年度水準への回復に至らず、前年度をも下回った。令和6年度は、現時点で自然災害等の影響などの懸念事項は生じていないことから、生産量の確保は出来ると見込んでおり、組合員に対し共選所の更なる利用を働き掛け、目標達成を目指すものである。	共選量は年々改善してきてはいたものの、令和5年度は、生柿の一部園地で生産量減に加え、ぶどう・りんごの不作も影響し、全体生産量が令和元年度水準への回復に至らないばかりか、前年度をも下回ってしまったものと捉えている。 当組合については、計画年次に比べ組合員数が50名減少してはいるものの、自然災害や特異な事象が発生しなければ、目標は達成可能なものと捉えており、組合員一丸となって生産量の回復を意識した栽培に努めるよう口頭で指導した。今後とも、共選所利用による系統集荷の徹底や、生育管理の徹底による生産量回復について、継続的に組合員に働きかけを行っていくよう、当組合に対し、農政懇談会の開催等機会を設け指導するとともに、共選場へ直接訪問し状況確認及び指導などを行っていく。	目標年度である令和5年度の実績は1,026,829.3kgであり、目標が達成されなかった。 改植や気象災害が主な要因となっているため、凍霜害からの回復や成園化が進めば、生産量の増加が見込まれる。今後、生柿では、せん定や摘果等による凍霜害からの樹勢調節、もも改植は場では、せん定等による樹体管理及び適正な着果量の確保について指導を行う。併せて、遅霜等の気象災害対策に係る情報提供、高温・干ばつ対策としてかん水実施等の指導を行いながら、目標達成に向けて支援する。	
楡葉町	楡葉町	乾燥調製貯蔵施設 水稲	被災前に比べて生産量を22.3%以上増加	7,509俵	13,911俵	11,516俵	12,013俵	9,182俵	269.2%	被災前の施設状態に戻ったことにより、施設の利用が進み、生産量が計画時と比較して270.24t(60.0%)増加した。	乾燥調製施設 鉄骨造地上2階建て1棟 1,167.638㎡ 玄米 725t 乾籾 1,000t	5,500,000	2,750,000	550,000	2,200,000	0	R3.7.2	被災前の施設状態に戻り、農業者向けの説明会等で施設の利用を呼びかけるなどした結果、施設の利用農家及び利用面積の拡大が進み、目標を達成することができた。	被災前の施設状態に戻り、農業者向けの説明会等で施設の利用を呼びかけるなどした結果、施設の利用農家及び利用面積の拡大が進み、目標を達成することができた。	生産量は12,013俵となり、目標が達成された。 今後も生産量維持・拡大のため必要に応じて技術的助言や支援を行っていく。	
楡葉町	楡葉町	甘藷貯蔵施設 甘藷	被災前に比べて生産量を27.0%以上増加	274t	443.7t	710t	910t	348t	859.4%	被災前の施設状態に戻ったことにより、施設の利用が進み、生産量が計画時と比較して636t(232.1%)増加した。	集出荷貯蔵施設 鉄骨造平屋一部2階建て 貯蔵能力:1,260t ・施設:修繕 ・施設内の設備:修繕 4,688.33㎡	770,000	374,000	74,000	322,000	0	R6.10.28	被災前の施設状態に戻り、農業者向けの説明会等で施設の利用を呼びかけるなどした結果、施設の利用農家及び利用面積の拡大が進み、目標を達成することができた。	被災前の施設状態に戻り、農業者向けの説明会等で施設の利用を呼びかけるなどした結果、施設の利用農家及び利用面積の拡大が進み、目標を達成することができた。	生産量は910tとなり、目標が達成された。 今後も生産量維持・拡大のため必要に応じて技術的助言や支援を行っていく。	